事業計画 (鉄道)

I. 旅客鉄道

三陸鉄道

- 不通区間:小本~田野畑(北リアス線)、吉浜~釜石(南リアス線)
- 平成26年4月頃に全線で運転再開の見込み

JR山田線

〇 不通区間:宮古~釜石

○ まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討

今後、沿線地方公共団体が、市街地の移転等と合わせて、鉄道ルートの変更等も含めた復興整備計画等を策定するとともに、JR東日本が津波に対する鉄道の安全運行確保等の観点からの検討を行った上で、復旧方針を決定

JR大船渡線

〇 不通区間:気仙沼~盛

○ まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討

平成24年10月4日の公共交通確保会議における合意に基づき、平成25年3月2日からBRTによる仮復旧の運行を開始

今後、沿線地方公共団体が、市街地の移転等と合わせて、鉄道ルートの変更等も含めた復興整備計画等を策定するとともに、JR東日本が津波に対する鉄道の安全運行確保等の観点からの検討を行った上で、復旧方針を決定

JR気仙沼線

〇 不通区間:柳津~気仙沼

〇 まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討

平成24年5月7日の復興調整会議における合意に基づき、平成24年12月 22日からBRTによる仮復旧の本格運行を開始

今後、沿線地方公共団体が、市街地の移転等と合わせて、鉄道ルートの変更等も含めた復興整備計画等を策定するとともに、JR東日本が津波に対する鉄道の安全運行確保等の観点からの検討を行った上で、復旧方針を決定

JR石巻線

〇 不通区間:浦宿~女川

○ まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討

この検討結果等を踏まえ、浦宿~女川駅間については、女川町で進めている、 駅周辺の復興まちづくりとの整合を図りつつ、早期運転再開に向けた取組みを進 める

JR仙石線

〇 不通区間:高城町~陸前小野

○ まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公 共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整 会議を設置し、復旧について検討

この検討結果等を踏まえ、ルート移設等に係る復旧工事を進め、平成27年の うちに全線運転再開を目指す

JR常磐線

〇 不通区間:広野~原ノ町、相馬~浜吉田

○ 相馬~亘理について、まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運

輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討

この検討結果等を踏まえ、ルート移設等により用地取得等を前提として、平成 26年春の工事着手、概ね平成29年春頃の運転再開を目指す

○ 福島第一原子力発電所事故に伴い設定された警戒区域及び避難指示区域内の区間(広野~原ノ町)については、線路上の空間線量調査(環境省(磐城太田~桃内駅間、竜田~広野駅間))を行った区間において、駅施設等の除染を必要に応じ実施するなど、「避難指示区域内におけるJR常磐線復旧に係る検討チーム」において、JR常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を実施

Ⅱ. 貨物鉄道

仙台臨海鉄道

〇 不通区間:仙台港~仙台北港

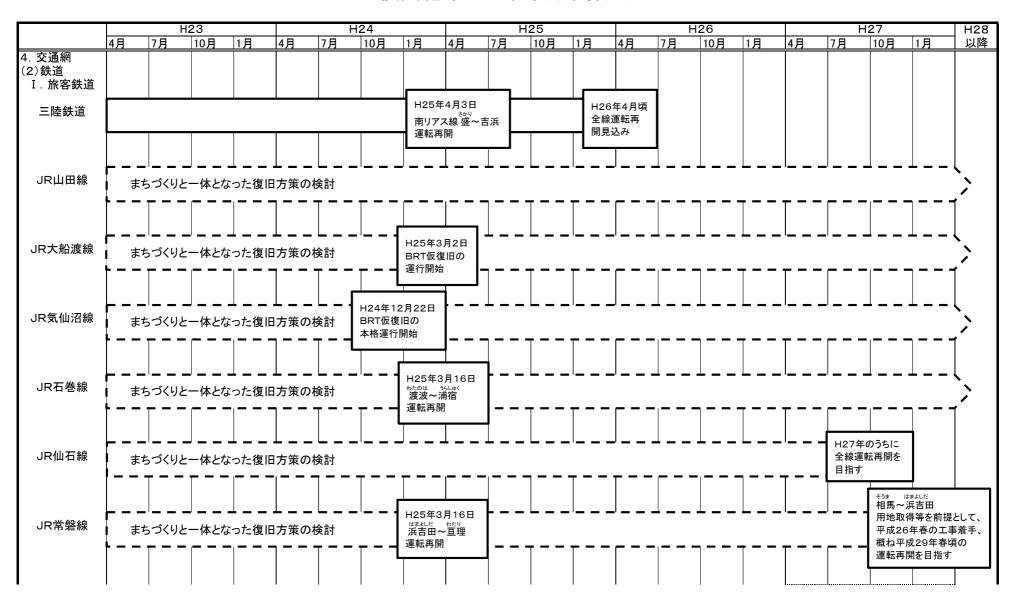
〇 平成24年9月7日に運転再開

JR貨物 (石巻港線)

〇 不通区間:陸前山下~石巻港

〇 平成24年10月9日に運転再開

復興施策の工程表(路線別)



Ⅱ. 貨物鉄	道								······································				 		
仙台臨海鉄	共 道						H24年9月 運転再開	7日							
							_		1						
JR貨物 (石巻港線	l 泉)					H24年10月9日 運転再開									